

事業コード	H23-建-継-2		区 分	国庫補助 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	道路改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	(主)ニツ井森吉線		担当課長名	柴田 明
箇所名	北秋田市増沢		担当者名	鈴木 護
総合計画との関連	政策コード	17	政策名	新たな生活圏の創造
	施策コード	04	施策名	地域内交通の整備
	指標コード	01	施策目標(指標)名	県道の整備推進

1. 事業の概要

事業期間	H19 ~ H24 (6年)	総事業費	14.8億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長 L=2,400m、幅員 W=6.0(11.0)m (2.5-1.25-3.0-3.0-1.25)m					
事業の立案に至る背景	<p>当該路線は、能代市を起点とし北秋田市に至る幹線道路であり、県北部の地域間交流支援を担うとともに、通学路指定路線になっているなど、沿線住民にとっては重要な生活道路となっている。しかし、当該区間は幅員狭小(Wmin=4.0m)、線形不良(Rmin=20m)で歩道も無いことから、歩行者の安全確保や幹線道路の機能に支障をきたしている(V=30km/h)。また、昭和35年に架設された高長橋は、コンクリートの劣化が激しいうえ鉄筋が露出・腐食しているため、構造上危険な状態となっていた。幹線道路としての広域的な機能と、生活道路としての安全性を早急に確保するため、道路整備を行うものである。</p>					
事業目的	<p>大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくりの支援) 通学路における児童の安全確保(安全な生活環境の確保) 老朽化が進む橋梁の架替え(防災・危機管理の充実) 第二次緊急輸送道路としての機能確保(防災・危機管理の充実) 河川改修事業との合併施工による治水安全度の向上(防災・危機管理の充実)</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	1,300,000	1,478,000	178,000		
	経費内訳	工事費	1,060,000	1,283,685	223,685	縦断計画の見直しによる増
		用補費	117,000	95,309	-21,691	用地買収の確定による減
		その他	123,000	99,006	-23,994	請負差額による減
	財源内訳	国庫補助	715,000	922,634	207,634	補助率の変更
		県債	555,000	508,378	-46,622	補助率の変更
その他		0	5,000	5,000	橋梁添架負担金	
一般財源	30,000	41,988	11,988	補助率の変更		
事業内容	調査・設計 改良工 橋梁工 舗装工	調査・設計 改良工 橋梁工 舗装工				
事業の進捗状況	改良工事(進捗率52%)および用地買収(進捗率100%)を進めている。 事業進捗率61%(H22年度末)					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	ふるさと秋田元気創造プラン「地域医療などを支える救急ネットワークの整備」を支援する事業					
情勢の変化及び長期継続の理由	<p>県北部をカバーする三次医療施設として、北秋田市民病院が平成22年4月1日が開院し、病院へのアクセス道路の一つとして利用されている。 本県を代表する観光地である、世界自然遺産「白神山地」と森吉山県立自然公園を最短で結ぶルートであり、観光支援のためのアクセス整備が望まれている。</p>					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	県道改良率				
	指標式	改良率(改良済延長/路線実延長)				
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目標値 a	70 %		データ等の出典	道路課調べ	
	実績値 b	71 %				
達成率 b/a	101.4 %		把握の時期	平成23年4月		

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	事業の実施は妥当である。ただし、事業計画では部分的に歩道を設置しない内容になっているが、実施に当たっては、今後の道路の利用を見据え、歩道のあり方を再検討すること。
	指摘事項への対応
	事業実施に向け、道路の利用形態を見据えた形で計画しており、地元への事業説明を行ったうえで、も了解を得ているため、当初の計画どおりとして事業を進めている。

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	県北部の地域間交流を支える道路であり通学路指定路線にもなっているが、幅員狭小(Wmin=4.0m)で線形不良(Rmin=20m)のうえ歩道も無い(通学路指定路線)ため、大型車のすれ違いが困難であり、地域内の安全が確保されていない。(V=30km/h)	12点
緊 急 性	平成22年に、二次医療施設として北秋田市民病院が開院しており、アクセス道路の一つとして、交通量の増加が予想される。 (H17センサス 3,235台/日 H22センサス 3,694台/日) 高長橋の老朽化が著しいため、早急に掛替える必要がある。 大型車混入率が20%を越える路線であり、安全を確保するため緊急に整備する必要がある。	12点
有 効 性	第二次緊急輸送道路に指定されており、防災対策上、整備は有効である。 通過交通をバイパス的に流すことにより走行時間短縮が期待でき、集落内の安全も確保できる。	30点
効 率 性	事業の費用便益比は1.3であり、有効性は高い。 ・総便益の現在価値22億円 ・総費用の現在価値16.5億円 線形の優れた市道を県道に振り替えることで、計画段階のコスト縮減を図っている。	20点
熟 度	事業の進捗(事業費)は、縦断計画の見直しによる計画延長の増により増額となった。用地買収が完了しており、今年度は橋梁が完成するため、計画通りの進捗となっている。	18点
判 定	ランク () 判定ランク であり、事業箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	92点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止	
	事業継続は妥当である	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価

事業コード (H23-建-継-2)

適用基準名 道路改築事業 (地域内・生活圏交通促進)

箇所名 (北秋田市増沢)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数				
	・車道幅員 < 5.5 m	3箇所以上	8	8	
	・最小半径 < 100 m	2箇所	6		
	・最急勾配 > 5 %	1箇所	4		
	・冬期堆雪巾なし	0箇所以上	0		
	計		15		
	道路環境上の欠陥該当項目				
	・現道の混雑度 1.0	5件該当	7	4	
	・現道の旅行速度 30km/h	4件該当	6		
・現道の事故率 50件	3件該当	5			
・通学路指定で歩道なし	2件該当	4			
・重大交通事故が発生	1件該当	2			
計	該当項目なし	0			
緊急性	道路をとりまく環境等				
関連事業の有無					
・県の主要プロジェクト	あり	4	4		
・地域振興プロジェクト					
・ほ場整備等の他事業	なし	0			
市町村合併支援道路	位置づけあり	3	0	0	
	位置づけなし	0			
交通量	増加している	3	3		
	増加していない	0			
特有の課題の有無	あり	5	5		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計		15	12		
有効性	道路の位置づけ				
生活圏30分形成道路等	該当する	7	7		
	該当しない	0			
救急医療施設へのアクセス道路	該当する	7	7		
	該当しない	0			
地域防災計画に重要な道路	該当する	7	7		
	該当しない	0			
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	9	9		
	低下傾向	6			
	必要性が低い	3			
計		30	30		
効率性	事業の投資効果等				
費用便益比 (B/C)					
1.0以上	5	5			
0.5以上1.0未満	3				
0.5未満	0				
計画交通量					
1,000台/日以上	5	5			
500台/日以上1,000台日/未満	4				
300台/日以上500台日/未満	3				
300台/日未満	0				
コスト縮減	あり	5	5		
	なし	0			
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	e t c 大規模バイパス e t c 部分的ミニバイパ e t c 現道拡幅	
	既投資額の部分的損失	4			
	既投資額の損失が少ない	3			
計		20	20		
熟度	事業の進捗進捗状況				
事業の進捗 (事業費)					
8割以上完了	10	8			
5割以上完了	8				
1割以上完了	5				
1割未満	2				
用地買収の進捗 (面積)					
8割以上完了	10	10			
5割以上完了	8				
1割以上完了	5				
1割未満	2				
未着手	0				
計		20	18		
合計			100	92	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上 ~ 80点未満		
	優先度が低い	60点未満		